

平成 17 年度

観光文化局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成17年度観光文化局予算要求総括表	1
2	17年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	
4	事務事業の総点検	7
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 団体補助金	

1 平成 17 年度観光文化局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 A	平成 17 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
観光コンベンション部	779 (586)	721 (556)	58 (30)	7.5% (5.1%)
文 化 部	2,597 (2,203)	2,755 (2,219)	158 (15)	6.1% (0.7%)
合 計	3,376 (2,789)	3,476 (2,775)	100 (15)	3.0% (0.5%)

- 1 派遣職員にかかる人件費は含まず
- 2 ()内は一般財源額
- 3 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

2 17年度予算要求にあたっての基本的考え方

- 街の魅力の増大による集客交流の促進 -

近年、1,300万人台で推移している来札観光客数を増やし、「さっぽろ元気ビジョン」に掲げる来客2,000万人を目指していく。そのために、札幌の新たな街の魅力を生み出し、これらを積極的にPRすることにより、“集客交流都市さっぽろ”を実現させる。

札幌を訪れる観光客の再訪率を向上させるため、観光客の満足度を高めるとともに、市民・企業・行政の連携、協働のもとで、ホスピタリティ¹の一層の充実を図る。

札幌が持つ観光資源の新たな活用方法や付加価値づくりについて、市民や関係業界との議論を重ね、さらに魅力あるまちづくりを推進する。

魅力的なまちづくりの大きな要素である芸術・文化を、札幌の都市イメージの向上に役立て、さらには新たな観光資源として活用する。

札幌市内の事業所数の4割以上を占める集客交流産業²の振興を図るため、観光客とコンベンション³の誘致を強力に推進し、札幌の基幹産業としてのさらなる発展と地域経済の活性化を目指す。

市民の様々な文化活動や人材育成を支援し、市民が芸術・文化に気軽に親しむことができる環境の充実を図る。

市民が優れた芸術・文化に接し、また、固有の自然・文化遺産や伝統文化に学ぶ機会をつくることにより、このまちに住んでいることを誇りに思えるようなまちづくりを積極的に進める。

¹ ホスピタリティ・・・来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたいようにさせる心のもったもてなし。

² 集客交流産業・・・来客への直接的なサービス提供（主なものは、飲食、買い物、レジャー、コンベンション、交通、宿泊）に関連する産業や来客への情報提供（主なものは、観光企画、情報メディア、印刷、通訳）に関連する産業を指す。

³ コンベンション・・・大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

来客2,000万人を目指し、市民・企業・行政の協働のもとで「おもてなし」の向上を推進するとともに、新たな街の魅力を創造・発掘し、これらを国内外に積極的に発信することにより、集客交流の促進および地域経済の活性化を図る。

協働による観光振興とコンベンション事業の推進

135百万円(124百万円)

注:()内は16年度予算額

ア 芸術・文化を活用した街の魅力創造・発信事業(観光コンベンション部)
10百万円【新まち等、新規】

17年度におけるモエレ沼公園の完成に合わせ、市内のアートを紹介するマップの作成やイサム・ノグチを活用したペイドパブリシティ⁴、首都圏でのイベントキャンペーン等を行い、アートを切り口とした新たな街の魅力の創造・発信を行う。

イ 集客交流・シティPR⁵キャンペーン事業(観光コンベンション部)
70百万円【新まち等】

来札客を温かく迎える「おもてなし」、札幌の魅力を視覚に訴える「ビジュアル」、会議やイベントを強力に誘致する「コンベンション」の3つのプロジェクトで構成するキャンペーン事業の本格実施期間として、これまで行ってきた事業を検証・拡充し、より効果的な事業展開を行う。

ウ 藻岩山魅力アップ構想推進事業(観光コンベンション部)
7百万円【新まち等】

16年度に策定予定の「藻岩山魅力アップ構想」の具現化を図るための(仮称)「藻岩山魅力アップ基本計画」策定に向け、各事業体の計画策定にあたっての指導・調整を行う。

⁴ ペイドパブリシティ・・・広告に準じた媒体料を支払い、記事形式で行う広報活動。

⁵ シティPR・・・都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

エ フィルムコミッション⁶事業費補助（観光コンベンション部）

15 百万円【新まち等】

本市への積極的な映画やテレビのロケ誘致を進めるとともに、その支援体制を一層充実させるため、さっぽろフィルムコミッションに対し補助を行う。

オ 国際観光促進事業費（観光コンベンション部）

8 百万円【新まち等】

中国、韓国をはじめとする東アジア地域、また、道内への入り込みが増加しているオーストラリア等を対象として、メディアを活用したイメージ発信、現地におけるプロモーション活動、商品開発支援等の誘致宣伝事業を行う。

カ ターゲット別国内観光プロモーション事業費 他 5 件（観光コンベンション部）

25 百万円【新まち等】

【成果指標】

7.年間来客数

【目標】1,368 万人 1,500 万人

【17 年度効果】+ 44 万人（累計 1,457 万人）

8.来客の満足度

【目標】83.5% 90.0%

【17 年度効果】+ 2.0%（累計 88.0%）

10.コンベンション誘致件数

【目標】608 件 1,000 件

【17 年度効果】+ 58 件（累計 900 件）

⁶ フィルムコミッション・・・映画、テレビドラマ、CM撮影などにおけるロケーションをスムーズに進めるためのさまざまな情報やサービスを提供する支援組織で、自治体の一部署や民間団体又は両者の協力機関で組織する非営利組織。

(2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

優れた芸術・文化に親しめる環境を充実するとともに、楽しみながら実践し表現・発信できる文化の薫るまちづくりを進める。また、地域の優れた文化遺産の保存と活用を推進する。

芸術・文化の薫る街の実現

609百万円(462百万円)

注:()内は16年度予算額

ア パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助金等(文化部)

派遣職員人件費を除き 196百万円【新まち等】

世界3大教育音楽祭⁷として発展を続けているPMFに対して、事業費の補助等を行う。

イ 札幌交響楽団運営費補助金(文化部) 172百万円【新まち等】

北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団に対し、運営費の補助を行う。

ウ 芸術文化による札幌の魅力創出事業(文化部) 5百万円【新まち等、新規】

さっぽろ雪まつりなどの大型イベントに連動して、札幌の郷土芸能や大衆文化を紹介する事業に対して補助を行い、新しい札幌の魅力を発信する。

エ 文化活動練習会場学校開放事業(文化部) 4百万円【新まち等、レベ】

音楽、演劇等の文化活動団体に対して、小学校の教室を練習会場として開放する。

オ キタラファーストコンサート事業費補助金(文化部) 32百万円【新まち等】

市内の小学6年生が札幌コンサートホールKitara(キタラ)で、オーケストラ演奏を鑑賞・体験するプログラムを継続して実施し、青少年の音楽普及及び振興を図る本事業に対して事業費を補助する。

⁷ 世界3大教育音楽祭・・・パシフィック・ミュージック・フェスティバル、タングルウッド音楽祭、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭が「世界3大教育音楽祭」と言われている。

- カ 文化財施設整備事業(文化部) 147 百万円【新まち等、レベ】
 旧永山武四郎邸の保存修理工事を実施するほか、時計台など文化財施設の保全改修計画を策定する。
- キ 大型動物化石総合調査事業(文化部) 11 百万円【新まち等】
 豊平川河床で発見された札幌産カイギュウ⁸化石を本格的に発掘し調査・研究するとともにカイギュウ生息当時の自然環境とその変遷を明らかにする総合的な調査を実施する。
- ク 博物館建設構想推進事業(文化部) 18 百万円【新まち等】
 博物館活動センターを活動拠点として、市民とともに成長発展する博物館づくりを進めるとともに、資料の収集・整理保存、調査・研究、普及・交流などの活動を引続き展開する。
- ケ 舞台芸術創作活動支援事業 他 4 件(文化部) 24 百万円【新まち等】

【成果指標】

45. 主要芸術・文化施設の利用者数
 【目標】163 万人 190 万人
 【17 年度効果】+5 万人(累計 185 万人)
46. 学習・研究の種類別行動者率(芸術・文化)
 【目標】8.7% 9.5%
 【17 年度効果】+0.2%(累計 9.3%)
47. 趣味・娯楽の種類別行動者率(演芸・演劇・舞踊鑑賞)
 【目標】12.5% 16.4%
 【17 年度効果】+0.7%(累計 15.7%)

⁸ カイギュウ・・・大型の海生哺乳類の一グループで、今生きているものではジュゴンやマナティーが知られている。

4 事務事業の総点検

(1) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額 4百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費節減

<見直し額 57百万円>

サービス水準など

大通観光案内所の廃止

<見直し額 3百万円>

立地条件や観光客の利用状況を踏まえ、16年度から運営を休止している大通観光案内所を廃止する。

(2) 団体補助金

廃止 0 件

削減 2 3 件

継続 2 件

<見直し額 18百万円>

団体名	17年度予算額	見直し額
(社)札幌観光協会	4,600	300
(社)定山溪観光協会	3,600	200
さっぽろライラックまつり実行委員会	1,600	200
さっぽろ夏まつり実行委員会	14,000	2,000
さっぽろ菊まつり実行委員会	1,600	200
さっぽろ雪まつり実行委員会	48,000	6,000
さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会	32,000	4,000
YOSAKOIソーラン祭り組織委員会	2,700	300
スノーメモリアル実行委員会	1,800	200
札幌市民芸術祭実行委員会	14,000	2,300
(財)札幌市芸術文化財団 札幌美術展実行委員会から事業移管	6,000	700
(財)北海道文学館	1,800	300
札幌文化団体協議会	2,500	350
(社)北海道邦楽邦舞協会	800	100
北海道二期会	400	50
北海道舞踊華扇会実行委員会	400	50
札幌市巡回演劇教室実行委員会	400	50
さっぽろ旭山うた祭りの会 (さっぽろ旭山音楽祭補助金)	800	100
全道バレエフェスティバル イン サッポロ実行委員会	400	50
ファッションタウン・さっぽろ推進協議会 (さっぽろ窓辺展補助金)	400	50
(財)北海道演劇財団	4,000	500
特定非営利活動法人 札幌室内歌劇場	400	50
(財)札幌交響楽団	172,000	0
アシリチェップノミ実行委員会	800	0
札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会	450	50
合 計	315,450	18,100